



デートDVの特徴

(9枚のスライド)



デートDVの特徴

1. エスカレートする
2. 気づきにくい
3. 別れるのが難しい

次から説明します！



デートDVがエスカレートする！！

緊張（イライラ）期

きげんが悪い、ちょっとしたことで相手を責めたり、大声で怒鳴る

被害者

相手の顔色をうかがってビクビクする、自分のせい、などと思う

ばくはつ期

怒りがコンとロールできなく、なぐる・けるなどのひどい暴力をふるう

被害者

怖い、どうしたらよいかわからない、自分が悪いから、などと思う

ラブラブ期

「もうしない」とあやまり、優しくなる

被害者

彼を信じよう、私が悪かったから、やはり好き、などと思う

サイクルを繰り返し、エスカレートしていきます。

早めに気づいて対処することが必要です！

デートDVのサイクルについて（説明）

- 「緊張（イライラ）期」、「爆発期」、「ラブラブ期」を繰り返しながら、デートDVはひどくなっていきます。
- 特に、「ラブラブ期」は、やはり好きだという気持ちや相手が変わってくれるという期待を持ちます。
- しかし、残念ながら、再び、暴力が起こります。
- それは、前回よりひどいものになり、繰り返します。

暴力をする人は、いろいろな理由をつけて暴力を正当化し、続けます。

そして、自分の思うように相手をコントロールして、自分の立場の安定を保とうとします。

デートDVに気づきにくい、“なぜ”？

- 恋愛は束縛（そくばく）しあうものと思っている
- 相手は自分の思い通りになる、相手の思い通りしなければいけないと思っている
- ちょっとしたけんか、または仲がよいからと思っている
- 相手を怒らせた自分が悪いだけと思っている など

これらは、恋愛についての勘違いです。

このように思い込んでいるとデートDVに気づかないことになります。

まずは、デートDVについて知ることが必要だね！



デートDVに気づくために

《こんな時はデートDVを疑ってみましょう》

- 最初は、嬉しかったことが「なんか無理」と思うようになる
- 相手に「なんか会いたくない」とか、「ちょっと怖い」と思うことがある
- 自分の思いが言えない、嫌なのに嫌と言えない
- 友だちとの約束を断るようになる



暴力している人がデートDVに気づくとき

DV（夫婦間の暴力）では、相手が家からいなくなって気づくという人も多いです。

《デートDVでは・・・》

- 相手の態度が明らかに変わる：連絡がつかない、会ってくれないとなって気がつく。別れたいと言うだけでは、自分の気持ちをどうしてわかってくれないのかとキレられてしまい通じないことも。
- 第3者から明確に言われたとき

暴力を受けている人より、
暴力をしている人のほうが
気がつかない。だから、
周囲のサポートが大切！！

別れられない、辛いのになぜ？

- デートDVがあっても“好き”、我慢すればよいと思っている
- 自分が相手を変えられる、暴力がなくなると思っている
- 「別れる」と言うと、よりひどいことをされると思っている
- 「別れるのなら死ぬ」のように脅かされている
- 相談や助けを求められない など

“別れる”ことは、デートDVのサイクルを断ち切る1つの方法です。

▶ 自分を大切にするためにも、別れる勇気を持ちましょう。

別れないとどうなるのだろう？

➤ デートDVがエスカレートする

（もう一度、デートDVの特徴「デートDVがエスカレートする！！」を見てみましょう。）

➤ お互いにデートDVであることを認識して、
しないという強い意思をもって、嫌なことには
“NO” と言え、お互いの気持ちや考えを話し、
対等な関係でものごとを決めていければ、デート
DVを予防できる。・・・支援が必要！

2人だけで解決することは難しいので、
相談をしましょう！



デートDVを受ける（被害にあう）と

からだ

打撲、ねんざ、骨折、など
ストレス反応として：頭痛、
腹痛、どうき、めまい、など



生活

眠れない／起きれない
友だちや家族との関係が悪くなる
学校にいけなくなる
アルバイトをやめる
など

こころ

自分をダメな人間と思う
うつうつする／元気がなくなる
やる気がなくなる
自分のことがどうでもよくなる



など

**5人に1人が命の危険
を感じています！！**

デートDVを受けた人の半数近くが
このような症状を訴えています。
たいしたことないと思って、そのま
まにすると大変なことになります。
自分を大切にしていきましょう！

